

日本図書館協会 学校図書館部会

第43回夏季研究集会埼玉大会のご案内

2014年5月31日

学 校 長 様
所 属 長 様
学校図書館関係教職員様

公益社団法人 日本図書館協会
理事長 森 茜
日本図書館協会 学校図書館部会
部会長 高橋 恵美子

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、日本図書館協会・学校図書館部会では第43回夏季研究集会(埼玉大会)を下記のとおり開催いたします。

つきましてはご多用の折とは存じますが、貴職下職員の参加につきまして、特段のご高配を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

記

開催日：2014年8月8日(金)～9日(土)

会 場：さいたま市民会館大宮・小ホール (埼玉県さいたま市)
〒330-0844 さいたま市大宮区下町 3-47-8
TEL 048-641-6131 FAX 048-641-6133

主 催：公益社団法人 日本図書館協会

後 援：埼玉県教育委員会 (申請中) さいたま市教育委員会 (申請中)
埼玉県図書館協会 (申請中)

《大会事務局》

埼玉県立川越総合高等学校 図書館
〒350-0036 埼玉県川越市小仙波 5-14
電話：049-222-4148 (内 40) Fax. 049-229-1050
大会事務局長 田沼 澄子

日本図書館協会 学校図書館部会

第43回夏季研究集会埼玉大会開催要項

1. 主 題 「学校図書館の今とこれから—学びと育ちの支援を軸に—」

2. 趣 旨

日本図書館協会は本年1月、公益社団法人として新たなスタートを切ることになりました。そして学校図書館をとりまく状況も大きく動いています。新しく生じた課題への対応とともに、学校図書館の未来を見すえた研究活動や実践が問われています。

情報リテラシー教育と学校図書館の結びつきは、近年理解が広まり、すぐれた実践も出ています。それではメディア・リテラシー教育はどうでしょうか？ そもそもメディア・リテラシーとは何なのでしょう？ 今回は学校図書館の未来を考えるのと同時に、新しく生じた課題についても、「子どもたちの学びと育ちの支援」をキーワードに考えていきましょう。

3. 日程

第1日 8月8日（金） 会場：さいたま市民会館大宮・小ホール

13:00 13:30 14:40 14:50 15:40 16:30 17:00 19:00

受付	開 会	部 会 報 告	休 憩	報 告 1	報 告 2	(移 動)	交 流 会
----	--------	------------------	--------	-------------	-------------	----------	-------------

第2日 8月9日（土） 会場：さいたま市民会館大宮・小ホール

9:30 9:45 11:45 13:00 13:50 14:00 16:20 16:30

受付	講 演	(昼 食)	報 告 3	休 憩	研 究 討 議	閉 会
----	--------	----------	-------------	--------	------------------	--------

※報告集での個人情報の掲載に関して

夏季研究集会終了後に発行される報告集に、個人名、所属、発言などが掲載されることがありますので、ご了承ください。また、報告集には、参加者の都道府県名・氏名・所属を記載した参加者名簿を掲載する予定です。これらにつき、不掲載を希望される場合は、お手数ですが、大会事務局までご連絡ください。

4. 内容

(1) 報告「学校図書館をめぐる状況」 図書館年鑑編集委員 堀岡 秀清 氏

文部科学省の動向、部会の取り組み等

(2) 講演「メディア情報リテラシー教育～ユネスコの新たな取り組み」

法政大学キャリアデザイン学部教授 坂本 旬 氏

日本ではあまり知られていないが、ユネスコと国連は協力して世界的にメディア情報リテラシー教育を普及させようとしている。これは国連が進めてきたメディア・リテラシー教育とユネスコ・IFLA が取り組んできた情報リテラシー教育を統合しようとするもので、いわばユネスコ版 21 世紀リテラシーといってもよい。ではメディア情報リテラシーとは何か、その背景にはどんな思想や運動があるのか、そして日本の学校図書館運動の未来にどんな影響をもたらすのか紐解いていきたい。

〔講師紹介〕

1959 年大阪府生まれ。東京都立大学教育研究科博士課程単位取得満期退学。編集者、著述業をへて 1996 年より法政大学教員。アジア太平洋メディア情報リテラシー教育センター (<http://amilec.org>) 理事長。主なる著書・編著書「インターネット教育で授業が変わる—子どもの情報発信をどう進めるか」(旬報社 1997 年)『デジタル・キッズ ネット社会の子育て』(旬報社 2007 年)『メディア情報教育学 異文化対話のリテラシー』(法政大学出版局 2014 年)

(3) 報告 1 「授業を支える学校図書館であるために～総合的な学習の取り組みから」

岡山市立第一藤田小学校・学校司書 武田 江美子 氏

本校は ESD (持続可能な開発のための教育 Education for Sustainable Development) をテーマに総合的な学習の時間 (以下総合) 取り組んでいる。6 年生の総合での調べ学習の取り組みについて報告する。また、学校司書も授業についての意見交換や教職員とともに校内研修に参加するなど授業を支えるための取り組みもあわせて話したい。

(4) 報告 2 「カリキュラムに連動した総合高校での三年間の取り組み」

東京都立晴海高等学校・学校司書 渡辺 さゑみ 氏

2011 年度に着任した司書が真っ先にしたことは、学校の特色を勘案し本校における学校図書館の理想の姿を描いたこと。学習資料センター機能と読書センター機能の活性化に向けての取組みを報告します。

(5) 報告 3 「学校司書法制化をどう考えるか～市民の立場から」

学校図書館を考える全国連絡会・代表 水越 規容子 氏

ここ 2・3 年、学校図書館をめぐる動きが活発になった。はじめての学校司書配置のための地方交付税措置、文科省が公表した「これからの学校図書館担当職員に求められる役割・職務及びその資質能力の向上方策等について (報告)」、そしてこの時点ではまだ定かではないが、早晩、学校図書館法一部改正案が上程されそうな見通しである。これらを踏まえて、市民の会がどのように考え、どのように活動してきたか、これからどのように行動していくか、課題を含めてお話ししたい。

(6) 研究討議

5. 参加お申込み・参加費のご案内（払込用紙記入の注意）

ゆうちょ銀行発行の「振替払込請求書兼受領証」をもって申込受付とします。「払込取扱票」の通信欄に必要事項をご記入の上、下記口座に払い込んで下さい。「振替払込請求書兼受領証」は大会当日にご持参下さい。「領収書」は大会当日お渡しします。

ゆうちょ銀行振替口座 口座番号 00100-0-695640

加入者名 田沼澄子

	全 日 参 加	記 号	1 日 参 加	記 号
会 員	2,500 円 (報告集代・送料含む)	A	2,000 円 (報告集代・送料含む)	B
非会員	3,500 円 (報告集代・送料含む)	C	3,000 円 (報告集代・送料含む)	D
学 生	1,000 円 (報告集代含まず) (1 日参加も同額です)			E
報告集のみ購入希望 (送料含む) 1,000 円				F
交流会 参加費 4,000 円				G

※払込取扱票通信欄の該当する記号に○印をつけて、合計金額を振り込んで下さい。

例…日本図書館協会会員で全日参加、交流会に参加する場合、A と G に○印をつけ、6,500 円を振り込む。

※住所は、報告集送付先を兼ねます。自宅か所属かが分かるように記入し、所属の場合はその名称・部署等もご記入下さい（その宛先に報告集をお送りします。）

申込締切日…… 2014 年 7 月 11 日（金）

申込みと会計上のお問合せは、大会事務局にお願いいたします。

大会事務局 埼玉県立川越総合高等学校 田沼澄子

住所 〒350-0036 埼玉県川越市小仙波 5-14

Tel. 049-222-4148（内 40） Fax. 049-229-1050

メールアドレス lib@kawagoesogo-h.spec.ed.jp / tanumasu@yahoo.co.jp

※お問い合わせは、9:00～17:00 の間にお願いします。

○宿泊について……今回は宿泊先の斡旋はいたしません。

○会場へのアクセス

JR 線「大宮駅」東口（中央）から徒歩 15 分。

